



広島大学大学院海洋・海事系実践科学研究院(修士課程)が 令和9年10月、呉市内に設置されます

広島大学が文部科学省に申請していた「大学院海洋・海事系実践科学研究院(修士課程)」について、令和9年10月に呉市内(呉駅西中央ビル内)に設置されることが決定しました(詳細は広島大学長の定例記者会見資料を参照)。

広島大学は、本研究院の新設に伴い、新たな教育・研究拠点として呉キャンパスを設置します。呉キャンパスは、「アジアにおける新たな海洋・海事の拠点形成」を目指す呉市・広島大学 Town & Gown 構想の一環であり、呉市と広島大学が連携して進めています。

【市長コメント】

広島大学越智学長が先程、来年(令和9年)10月に広島大学大学院海洋・海事系実践科学研究院が、呉市内に設置されることが決まったことを発表されました。

修士課程の入学定員は15人です。教育はすべて英語で実施され、世界中から若い研究者が呉市を目指します。修士課程は2年間で15人ずつ、2年目からは世界からの優秀な若者30人が呉に集まります。

今後も呉市は、広島大学と一体となって海洋・海事に関する世界の拠点を呉市に築き、呉を海洋・海事教育研究のふるさとにしていきたいと思います。

7月27日

呉市長 新原 芳明

【呉市・広島大学 Town & Gown 構想に関わるこれまでの主な取組】

- 呉市・広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団による連携協定(R5.7)
- 海洋文化都市くれ推進協議会の設立(R6.1)
- 呉市・広島大学 Town & Gown Office の設置(R7.4)
- 広島大学海洋・海事未来研究所の設置(R7.10)
- 広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置(R8.10 予定)



令和 8 年 7 月 27 日

大学院海洋・海事系実践科学研究院（修士課程）の
令和 9 年 10 月設置が決定
～教育・研究拠点となる「呉キャンパス」を呉市内に整備～

広島大学が文部科学省に申請していた「大学院海洋・海事系実践科学研究院（修士課程）」について、令和 9 年 10 月の設置が認められました。

本研究院は、複数の研究科が緊密に連係して教育を行う「研究科等連係課程実施基本組織」として設置するもので、本学ではスマートソサイエティ実践科学研究院に次ぐ 2 例目の取り組みとなります。

本研究院では、国際的な視野と教養を備え、海洋・海事・造船分野に関わる「海洋政策・海洋ガバナンス」、「海洋利用技術」、「海洋環境・海洋資源」の 3 領域の基礎的知識に加え、各領域の高度な専門知識及び応用力を身に付けた文理融合型の高度人材を育成します。

入学定員は 15 人とし、教育はすべて英語で実施します。修了者には「修士（海洋・海事科学）」の学位を授与します。

今後、本格的に学生募集活動を展開します。

また、本研究院では、新たに呉キャンパスを整備し、呉沖周辺の海域全体も「学びの場」と位置づけて教育・研究を行います。本キャンパスは、「アジアにおける新たな海洋・海事の拠点づくり」を目指す呉市・広島大学 Town & Gown 構想の一環として、呉市と連携して整備を進めています。呉市が所有する呉駅西中央ビルの一部を改修し講義室等を整備したうえで、令和 9 年 10 月から授業を開始する予定です。

将来的には、生物生産学部附属練習船基地の周辺への移転も視野に入れ、地域に開かれた産学連携機能などを備えた複合施設の整備について、引き続き呉市と協議を進めていきます。

【お問い合わせ先】

＜大学院海洋・海事系実践科学研究院（修士課程）に関すること＞

広島大学国際協力学系支援室

Tel：082-424-6933 E-mail：kaiyoukaiji@office.hiroshima-u.ac.jp

＜呉キャンパスの整備に関すること＞

広島大学呉市・広島大学 Town & Gown Office

Tel：070-1477-8445 E-mail：kure-tgo-admin@office.hiroshima-u.ac.jp

海洋・海事系実践科学研究所（修士課程）



広島大学

Graduate School of Maritime and Marine Science

設置の必要性

- 気候変動や国際情勢の変化により、海洋環境、海事安全、海洋資源、国際ルール形成を統合的に担う人材育成が不可欠
- 広島大学には国内有数の造船工学の拠点としての実績があり、瀬戸内地域や呉市との連携、海洋工学・海洋学・水産学・国際法の強みを活かし、**文理融合型の海洋・海事学位プログラム**を構築

養成する人材像

国際的視野と教養を備え、海洋・海事・造船分野に関わる、①**海洋政策・海洋ガバナンス**、②**海洋利用技術**、③**海洋環境・海洋資源**の3領域の基礎的知識に加え、各領域の高度な専門知識及び応用力を身に付けた文理融合型高度人材

特色

● 英語で完結するカリキュラム

- ▶ 「海の平和利用と持続的発展」の国際展開を先導するグローバルリーダーの育成

● 実学重視の教育研究

- ▶ 本学の知を結集し、学外機関とも連携することで「海の平和利用と持続的発展」の国際展開を先導する人材・知の創出を目指す
- ▶ 学術×実務×実践の教育・研究を推進

● 新設する**呉キャンパス**を中心とした教育・研究

- ▶ 教室・実験棟・実際の海を「3つの学びの場」として活用し、理論と実践を融合した教育研究を展開
- ▶ 地元企業と連携した実践型インターンシップ・リカレント教育

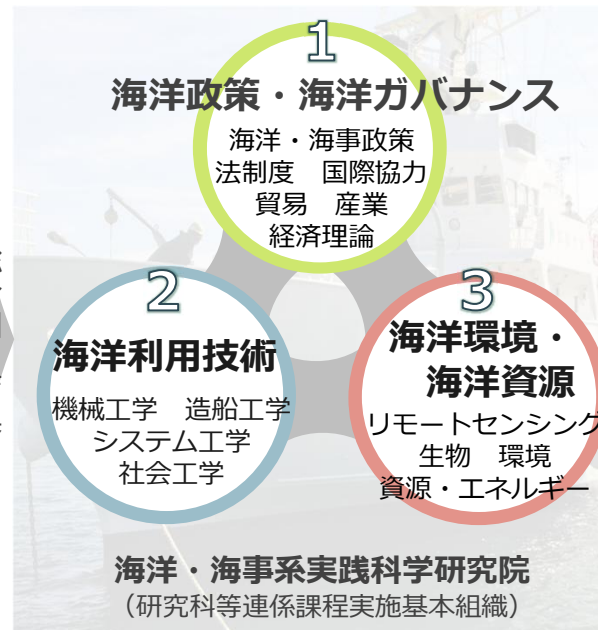
人間社会科学
研究科
国際政治学、海運
に関する経営史な
ど、人間と社会を
探究

先進理工系科学
研究科
造船工学、機械工
学など、科学技術
を創造

統合生命科学
研究科
海洋環境、ブルー
カーボンなど生命
を理解・活用

海洋・海事
未来研究所
海洋・海事関連の学
際研究、自治体や企
業と教育・研究プロ
ジェクトを実施

総合知を結集



包括協定・共同研究・国際交流等

呉市

「アジアにおける新たな海洋・海事の拠点づくり」を目指した呉市・広島大学 Town&Gown構想を推進

商船系高等専門学校

実践的スキルを備えた高専専攻科生の進学

海上保安大学校

海上交通安全を担う人材の育成

企業等

実務的指導者として社会実装の実践教育

海外大学

世界展開力強化事業を通じてサマーコース、セミナー、シンポジウム、教員の招へい、短期交換留学等を実施

設置時期

令和9年10月

入学定員

15名

授与する学位

修士(海洋・海事科学)



呉キャンパスの整備計画

2025-

呉市と拠点整備に向けて協議
呉駅西中央ビルの改修

2026.10

呉駅西中央ビルの一部フロアの改修完了
海洋・海事未来研究所に設置する**海洋リモートセンシング技術センター**を同施設内に配置、運用開始

2027.10

海洋・海事系実践科学研究院（学位プログラム）設置

2028-

用地確保後、拠点整備に向けて着工

STEP 1

呉市の協力により、呉駅西中央ビル（呉市所有）を改修し、講義室、院生研究室、教員研究室、海洋リモートセンシング教育研究室、事務室等を整備

STEP 2

呉市に設置している練習船基地の周辺に用地を確保し、地域に開かれた産学連携機能などを有する複合施設等の段階的な整備を進める

学位プログラム設置当初は呉駅西中央ビルを拠点に始動し、段階的に拠点の整備を進めていく

呉キャンパス



海洋・海事・造船分野が集積する呉市に、新たに設置する本研究院の中心となるキャンパス。
練習船基地や海洋・海事未来研究所と連携しながら、以下のような教育・研究を展開していく。

東千田キャンパス

法学、経済学、社会科学系の教育・研究を実施しており、呉キャンパスにおいて海洋・海事分野に特化した文理融合の教育・研究に展開

東広島キャンパス

西日本の大学で最大級の大型教育研究施設(曳航水槽、造波水槽、回流水槽、風洞)を活用して次世代船開発等に関する実験的研究を実施し、呉キャンパスでの実証に展開

グローバル人材の育成

世界海事大学や海上保安大学校、本学海洋・海事未来研究所等と連携し、技術開発と法・政策を両輪とした海洋ガバナンス教育・研究を通じて、グローバルリーダーを育成

先端技術&デジタル人材

AI、デジタルツイン、海洋ロボティクス、海洋リモートセンシングなどの先端技術を活用し、次世代の船舶・港湾・物流を支える技術開発と高度デジタル人材を育成

環境保全&サステナビリティ

DX・GXを活用したスマート水産、ブルーカーボン、海洋環境モニタリングなどの教育・研究を通じて、海洋資源の持続可能な利用と海洋環境の保全を担う人材を育成

実践型人材育成&産学官共創の推進

- 海洋・海事産業と連携したインターンシップやリカレント教育を展開
- 産学官共創による地域課題解決型研究とイノベーションの推進（COI-NEXT）